飲酒運転根絶に関する条例を制定

「飲酒運転を絶対しない、させない、ゆるさない」という強い意志を！

本町における飲酒運転による検挙者数は、愛知県内で、常にワースト上位となっており、飲酒運転が起因する事故により、職員の尊い命も犠牲となっています。

飲酒運転を根絶するためには、法律による厳罰化だけでなく、公務に携わる者が、率先して取り組むことはもちろんのこと、町民一人ひとりが、飲酒運転は、重大な交通事故の要因となる極めて悪質かつ危険な犯罪であり、決して許されるものではないことを深く認識することです。「飲酒運転を絶対しない、させない、ゆるさない」という強い意志をもって取り組むことが重要です。

このことから、町、町民、事業者および酒類提供者が一体となって、日常生活や地域活動の場において、飲酒運転の根絶に取り組むことにより、安全で安心な町民生活を確保することを目的に、本条例を制定したものです。

平成26年検挙者数

順位	市区町村名	免許人口1万人当り	実数
1	設楽町	7.96人	3人
2	港区（名古屋市）	6.23人	57人
3	**武豊町**	6.05人	18人
4	西尾市	5.82人	70人
5	碧南市	5.79人	29人
6	南知多町	5.17人	7人
7	春日井市	4.84人	101人
7	美浜町	4.84人	8人

平成27年（1月～3月末）検挙者数

順位	市区町村名	免許人口1万人当り	実数
1	**武豊町**	2.35人	7人
2	南知多町	2.24人	3人
3	港区（名古屋市）	1.53人	14人
4	高浜市	1.30人	4人
5	岩倉市	1.29人	4人
6	常滑市	1.23人	5人
7	美浜町	1.21人	2人

＊武豊町　平成25年　ワースト６位　免許人口1万人当り5.40人
　　平成24年　ワースト１位　免許人口1万人当り8.43人

「飲酒運転根絶町民運動の日」
平成27年度は、12月8日
「飲酒運転根絶の日」
毎月第4金曜日

議案質疑

ポスターやのぼり旗で啓発

問 どのように周知していくのか。

答 横断幕、のぼり旗、広報、ホームページ、役場の電光掲示板のほか、毎月第4金曜日の夕方に半田警察署のパトカーや青パトによる啓発活動を行っていく。

また、町内の飲食店や酒類提供者に関しては、ポスターやのぼり旗の設置をお願いしていく。

問 ポスター、横断幕、のぼり旗など啓発備品を作成すると、追加予算は発生するのか。

答 ポスター、のぼり旗などで啓発活動を行いたい。

より効果的な啓発活動を検討するなかで、必要に応じて予算化していく。

6月定例会

6月定例会は、6月3日から16日までの14日間の会期で開催しました。

飲酒運転根絶に関する条例の制定や地域交流施設整備工事（まちの駅、外構）の工事請負契約の締結、平成27年度一般会計補正予算など6議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

一般質問では、14人の議員が町政の問題をただしました。

平成27年度一般会計補正予算

あいち・出会いと体験の道場推進事業委託料　11万1000円

愛知県からキャリア教育に対する委託を受け、武豊中学校、富貴中学校の職場体験事後の学習に支出します。

コミュニティ助成事業助成金　180万円

(財)自治総合センターコミュニティ助成事業に採択され、中山区が盆踊りのやぐら、ちょうちん、いすなどを購入します。

特別支援教育推進モデル事業委託料　10万円

愛知県から武豊小学校が委託を受け、通常学級に在籍する発達障がいなどの児童生徒に対する指導・支援方法について研究し、小・中学校教員の指導力の向上を図る委託事業に支出します。

議案質疑

コミュニティ助成事業2件申請し1件が採択

問 平成26年度に本町から自治総合センターへ申請した件数は、中山区の1件だけだったのか。

答 一般コミュニティ助成事業は、市町村からは2件までの決まりがあり、毎年2件の範囲内で申請手続きをしている。

平成27年度分の申請についても、2件の申請をしており、そのうち1件が採択となった。

問 1件不採択になった理由は。

答 宝くじの収益金の減少と、県内の市町村の申請件数が増えてきているという理由で、今回は1件の採択になったと聞いている。

中学校職場体験受け入れ事業所は増加傾向

問 中学校の職場体験の受け入れ事業所数と推移は。

答 実施日が異なるので重複はあるが、平成26年度は、武豊中学校で121事業所、富貴中学校で80事業所に受け入れていただいている。

事業所数の推移は、平成24年度173事業所、平成25年度166事業所、平成26年度201事業所であった。

問 生徒が選ぶ事業所に変化はあるか。

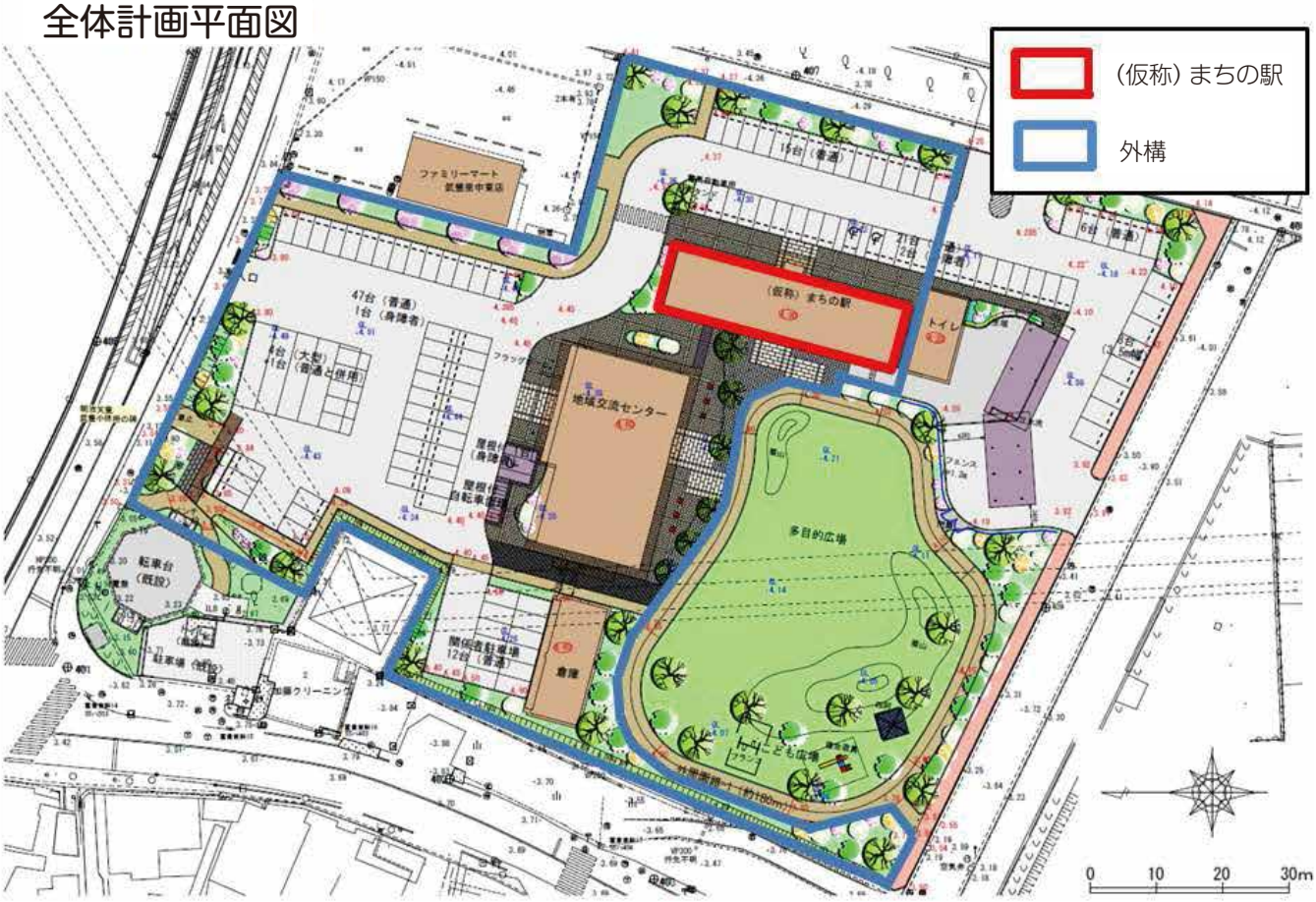
答 平成24年度と26年度の事業報告書を比較すると、医療・福祉関係、飲食関係、小売店での体験を多くの生徒が希望しているという傾向は変わっていない。

平成26年度の特徴としては、製造・情報・教育関係の事業所の希望が増加していること、また、希望する事業所が拡散してきている。

工事請負契約の締結

地域交流施設 平成28年4月オープン予定！

全体計画平面図



地域交流施設整備工事（仮称）まちの駅
1億789万2000円
請負契約者　富川建設株式会社

地域交流施設整備工事 外構　9147万6000円
請負契約者　株式会社岩川組

議案質疑

内装変更は町負担で対応

問 請負金額は、内装工事込みの金額か。また、出店業者はそのまま使用できるのか。

答 厨房以外の部分については、内装工事込みの金額であり、物販コーナーで入店業者が内装工事をすることは考えていない。

問 出店業者が決定していないが、内装変更があった場合の費用負担は。

答 大きな変更は考えていないので、町が負担する。

主な採決結果

○：賛成　×：反対　議長は採決に加わりません。

平成27年第2回定例会	1 冨永 良一	2 甲斐百合子	3 久野 勇	4 櫻井 雅美	5 青木 信哉	6 青木 宏和	7 本村 強	8 梶田 進	9 南 賢治	10 石川 義治	11 森田 義弘	12 大岩 保	13 鈴木 一也	14 石原 壽朗	15 福本 貴久	16 岩瀬 計介	採決結果
飲酒運転根絶に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	可決
平成27年度一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
工事請負契約の締結「地域交流施設整備工事（仮称）まちの駅」	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	可決
工事請負契約の締結「地域交流施設整備工事 外構」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決

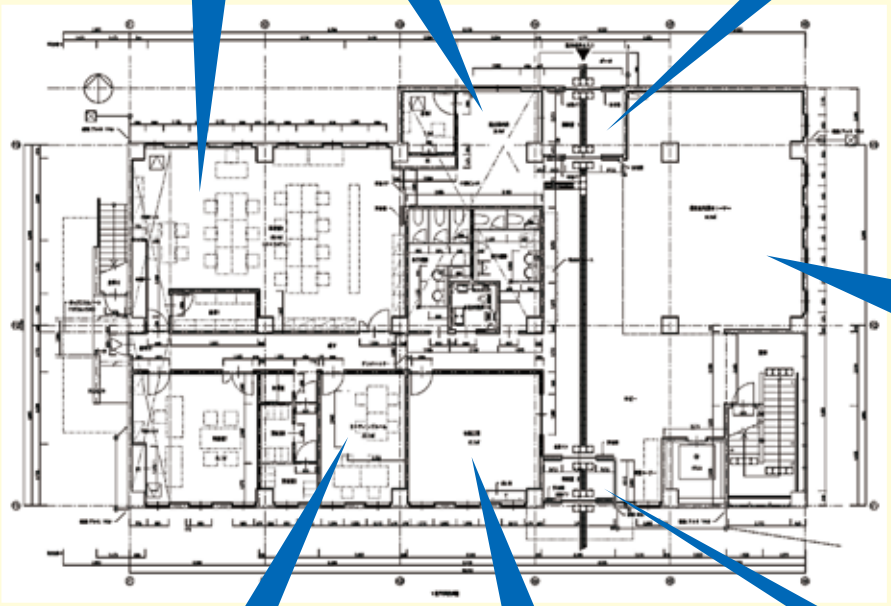
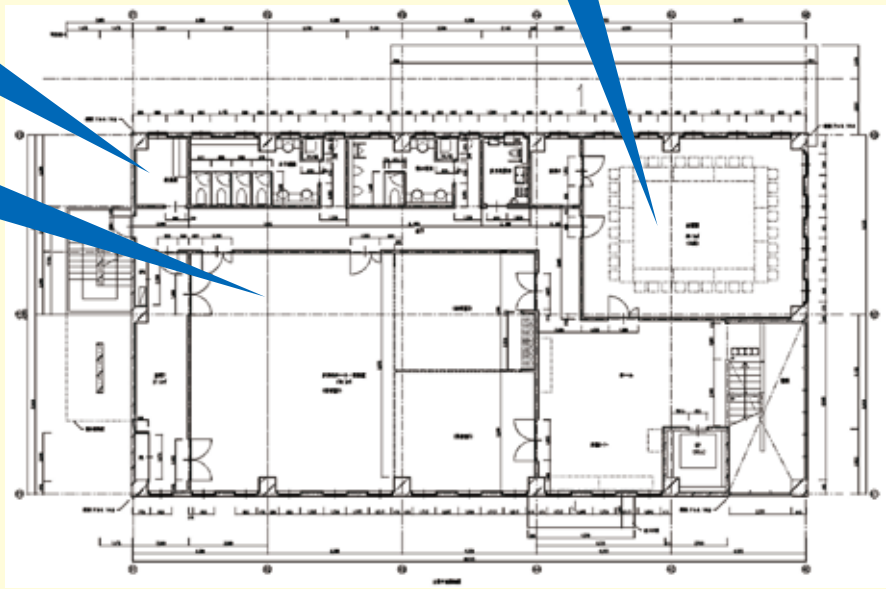
地域交流センター 工事現場を見学

6月3日、地域交流施設内の地域交流センター新築工事において、部分的に見学が可能となり見学会を行いました。

地域交流施設［地域交流センター、（仮称）まちの駅（飲食施設）、多目的広場（公園）、エコステーション、トイレ］のうち、平成26年度から27年度にかけて、地域交流センター建設工事を行います。

地域交流センターの中には、「地場産業の紹介コーナー」や「鉄道や港に関する展示コーナー」などが整備される予定です。

1F



2F